



職名	准教授
所属	ソーシャルデザイン工学科
フリガナ	エグチ フユコ
氏名	江口 布由子 <a href="mailto:feguchi@ge.kochi-ct.ac.jp">feguchi@ge.kochi-ct.ac.jp</a>
学位	博士（比較社会文化）（九州大学 2008）

## 1. 履歴

学歴	2005.3 九州大学大学院比較社会文化研究科 国際社会専攻 単位修得退学
職歴	2005.4 - 2010.3 福岡工業大学短期大学部 等 2010.4 - 2008.3 高知高専 総合科学科（講師） 2008.4 - 2016.3 高知高専総合科学科（准教授） 2016.4 高知高専 ソーシャルデザイン工学科（准教授）

## 2. 講義・委員会等

講義科目	本科：地理（1年）、経済学、人間と科学技術 専攻科：地域産業経済論
学内委員会等	2010.4 - 1年学級担任 2010.4 - プラスバンド部 副顧問 2011.4 - 2年学級担任 2012.10 - 2013.3 寮務委員 2013.4 - 2016.3 寮務主事補佐 2015.4 - 2016.3 人権・倫理委員 2016.4 - 2017.3 学生生活委員、1年学級副担任、地域連携センター員 2016.4 - AL教育センター副センター長 2017.4 - 2018.3 1年学級担任、男子バスケットボール部 副顧問 2018.4 - 2年学級担任、テニス部 副顧問

## 3. 研究活動

専門分野	近現代ヨーロッパ史
所属学会	歴史学研究会、日本西洋史学会、東欧史研究会
研究テーマ	1) 近現代東中欧における子どもの越境的移動 2) 近現代オーストリアにおける優生学の普及

主要論文・著書等	<p>【論文】</p> <p>1) 「19-20世紀転換期のオーストリアにおける児童福祉—「私的慈善事業」とその「自立性」をめぐる—」, 『西洋史学論集』43号, p.1-19(2005.11)</p> <p>2) 「第一次大戦期のオーストリアにおける国家と子ども—「父のいない社会」の児童福祉—」, 『歴史学研究』816号, p.17-32,50(2006.7)</p> <p>3) 「第一次大戦末期のオーストリアにおける学童集団疎開」『九州歴史科学』36号, p.30-50, (2008.12)</p> <p>【著書】</p> <p>1) (共著) 松井康浩(編)『グローバル秩序という視点—規範・歴史・地域』「帝国の子ども、国民のこども—婚外子からみた帝政オーストリアにおける帝国・国民秩序」.(法律文化社 2010) p.155-170</p> <p>2) (共著) 江口厚仁・吉岡剛彦・林田幸広編『圏外に立つ法/理論—法の領分 [おしごと] を考える』「第9章一九後半～二〇世紀前半におけるウィーンの「子どもの流通」—今、社会的子育ては展望できるだろうか。」(ナカニシヤ出版 2012) pp.182-219</p> <p>3) (共著) 大津留厚ほか(編)『ハプスブルク史研究入門』「第16章 新しい国家、健やかな子」(昭和堂 2013) pp.217～227</p> <p>4)(共著) 沢山美果子ほか(編)『保護と遺棄の子ども史』「第5章 近現代オーストリアのける子どもの遺棄と保護」(昭和堂 2014) pp.153-180</p> <p>5)(共著) 三時 眞貴子/ 岩下 誠/ 江口 布由子/ 河合 隆平/ 北村 陽子 『教育支援と排除の比較社会史—「生存」をめぐる家族・労働・福祉』(昭和堂 2016)</p>
----------	--

研究プロジェクト・外部資金等	・科学研究費補助金基盤研究 C 「20世紀前半東中欧における国境変動と子どもの越境的移動」(平成 27～29年 代表 江口布由子)
----------------	---